

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和5年 2月 15日

事業所名:たにやま たんぼぼ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○			職員の人数は適正ではあるが、職員の増員を予定しており利用児にとってさらに良い環境を作っていくようにする。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	建物2階の事業所なので利用児の年齢や状態に合わせて来所や退所時に支援を行っている。	再度環境を見直し、手すりを加える等改善できる箇所は改善していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		朝夕掃除、活動ごとに消毒を行うようにしている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	○		指導後や職員会議の中で、現状と目標を見直し、改善に努めている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			連絡帳やメール等を活用しながらより意向を伝えやすい環境を整えていくようにする。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		自己評価の結果を学園のホームページで公開している。	ホームページの内容を見直し、より分かりやすく伝わりやすい環境を作るようにする。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部評価を頂きながら、日々のサービス提供、業務改善に努めていくようにする。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		定期的に事業所内研修を行い、職員の資質向上に努めた。	様々な研修に参加し、新たな知識や技術を獲得していくようにする。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的にアセスメントを行い、利用児を多面的に捉えながら計画を作成している。	保護者のニーズだけでなく、並行利用している園とも情報を共有したうえで計画を作成していく。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		行動観察によるアセスメントツールを活用し、状態を把握している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		日々の行動観察や保護者への聞き取り、並行利用の施設、ガイドラインをもとに計画を作成している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		職員や保護者と状態を共有しながら計画に沿った支援に努めた。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担任や担当を決めずチームとして利用児を把握し、支援計画や支援内容を検討している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		指導がマンネリ化しないように職員同士で指導内容を共有している。	重点的に指導を行う場合は、指導を固定化する事もあるので、その中でいかにマンネリ化しないようにするかの工夫をしていくようにする。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○		利用児の状態や目標に合わせて個別指導と集団指導を組み合わせている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		職員同士でコミュニケーションをとりながら、支援における役割を決めている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			利用の状況によっては、共有が次の日になる等終了後すぐにはできない時もあった為、利用時間や職員の勤務時間等の改善を行う。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援後、支援内容や利用児の状態、達成度等を記録し、共有している。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを行い、支援内容を随時検討している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		利用児の状態や支援内容を把握できている者が参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		並行利用の園だけでなくその他の関係機関とも連携を取りながら支援を行っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		並行利用している園と必要に応じて情報を共有している。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援シートや書面、電話等を利用しながら情報を提供している。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		子ども療育センターや並行利用の事業所、相談支援事業所等と情報を共有できている。	今年度は、前年度に比べ研修に参加することができたが、まだまだ職員の数等様々な理由から参加できない時もあったので、研修に参加しやすい環境を整えるようにする。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		個別指導を主としている為、事業所としての交流活動は行っていないが、必要に応じて検討していくようにする。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			参加できる研修には参加しているが、様々な理由から参加できない時もあった為、環境を整えていくようにする。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		見学に来ていただいたり電話やメールを活用したりしながら状態を共有した。	連絡帳等を活用し、より状態や見通しを持てるように支援を行う。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		指導後や相談を受けた際に、家庭でも取り組みやすい支援方法の助言を行った。		
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			変更がある際には、面談等で丁寧に説明していけるようにする。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援計画の説明、同意、交付の際に児童発達支援ガイドラインの説明を行っている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談だけでなく、電話やメールを利用しながら迅速に対応している。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		父母の会の設立や活動は行っていないが、保護者からの要望がある場合は保護者同士が情報を共有できる場を設ける。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談・苦情受付の担当を提示している。また、研修等に参加をし、マニュアルを作成し職員間で共有している。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		個別指導を主としている為、行事は行っていない。ホームページを利用しながら情報を発信していければと考えている。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		職員間でも個人情報の取り扱いの配慮の仕方を共有している。また、保護者に対しても契約書にて同意を頂いている。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的アプローチ等一人一人に合った配慮を行っている。	
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		個別指導を主としている為、地域の方を招待する等の交流は行っていない。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		新たにマニュアルを作成し、職員研修を行っている。	環境の変化に対応しながら、マニュアルが適正か日々検討していくようにする。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に火災や洪水等の避難訓練を行っている。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		利用契約書の説明の際に確認をしている。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		事業所では食事の提供はしていないが、保護者に確認をし、職員で共有している。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		記入用紙を作成し、設置している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修に参加をし、研修に参加した職員が事業所内で研修内容を伝える事業所内研修まで行っている。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束についての事業所内研修を行っている。	現在身体拘束が必要な児童の利用がないが、必要に応じて対応していく。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)